

(稻村勇輝)

橋

文化審が5基で名称変更答申

前橋 国史跡「総社古墳群」に

国の文化審議会（佐藤信
会長）は20日、前橋市總社
地域に広がる古墳群のうち、
すでに国史跡に指定済

みの3基に新たに2基を加

え、5基合せて「総社古
墳群」と名称変更するよ
うに盛山正仁文部科学相に
答申した。古墳群全体の
歴史的価値が初めて正式に
評価された形で、市は今後、
保護や情報発信を強化す
る。

答申によると、すでに国
史跡に指定されている「子

山古墳、宝塔山古墳、蛇穴
山古墳を統合。遠見山古墳、
愛宕山古墳を追加指定し、
5基合せて総社古墳群と

する。

5世紀後半から7世紀
後半にかけて築かれた東日本
有数の古墳群で、当時

の古墳の形や埋葬方法の変
遷、ヤマト王権との深い
関連がうかがえるのが特
徴。近くに上野国分寺跡、
山王廃寺跡などの重要史跡
もある。

市は2017年度から古
墳群の全体的な価値など
を調査してきた。答申を受
け、山本龍市長は「市の成

り立ちや発展を知る上で必
要不可欠な史跡。価値を
損なうことなく、未来へと
継承していきたい」とのコ
メントを発表した。市教
委文化財保護課は「多く
の人に足を運んでもらい、
各古墳を築いた豪族の力の
大きさや当時の地域発展
の歴史を体感してほしい」
とした。

審議会はこの他、国史跡
の上野国佐位郡正倉跡（伊
勢崎市上植木本町）につい
て、未指定だった約340
平方㍍を追加指定するよう
答申した。正倉が立ち並ん
でいた区画で、指定後の広
さは計約9万1400平方
㍍となる。

いずれも近く官報に告示
される見通し。統合に伴い